

## 第5学年 国語科学習指導案

日 時 平成22年10月5日(火) 5校時

場 所 5年教室

児 童 男子11名 女子7名 計18名

指導者 古 舘 正 紀

### 1. 教材名 意見を整理しながら、目的に向かって話し合おう

『失敗』をめぐって(光村 5年下)

### 2. 児童の実態

児童はこれまで話し合う教材として、4年下「話し合って決めよう」を学習した。そこでは、どうしたらよい話し合いになるのかを、CDや教科書を参考にしながら考え、「話題からそれないようにする」「賛成・反対などの立場をはっきりさせる」「体験したことや知っていることを例に挙げる」などの話し合いのポイントをとらえて実際に話し合う活動を行った。学習を通して、児童は、話題からそれないように発言したり、賛成反対をはっきりさせて発言したりすることができるようになってきている。

学級会や日常生活の中での話し合いでも、互いの考えの相違点や共通点を理解しながら、よりよい意見にまとめていこうとする姿勢が見られるようになった。しかし、話し合いに自信をもって参加できずに、なかなか自分の意見を言い出すことができない児童もまだいる。

### 3. 教材について

学習指導要領における第5学年及び第6学年の「話すこと・聞くこと」の目標は、「目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについての的確に話す能力、相手の意図をつかみながら聞く能力、計画的に話し合う能力を身に付けさせるとともに、適切に話したり聞いたりしようとする態度を育てる。」である。

本教材は、「話し合いの手順を理解し、目的や順序を意識しながら、計画的に話し合う力」を育てることをねらいとしている。

教材は大きく3つの学習内容で構成されている。はじめに、教材文やCDを参考にして、話し合いの進め方を理解する。次に、その進め方に沿って、グループごとに1回目の話し合いをする。最後に、話題を変え2回目の話し合いをし、学習を通して学んだことを交流する。1回目の話し合いでは、誰もがする「失敗」を話し合いのテーマにする。どの児童も自分の体験談としての失敗を話すことができ、その原因や解決策を整理しながら、興味をもって話し合いができると考える。また、2回目の話し合いでは、学校生活をさらによりよくするために「学校生き生きプラン」というテーマを設定する。自分たちが学校で行っている行事や活動を見直し、異学年交流、文化的行事、スポーツ行事、ボランティア、地域との交流などの中から、より活発な活動がうまれるプランを考え、代表委員会で提案することを目的に話し合わせたい。

### 4. 指導にあたって

「見通す」段階では、代表委員会で5年生から「学校生き生きプラン」を提案するという目的意識をもたせたい。その上で「目的をもった話し合い」を成功させるために、計画的な話し合いの進め方をしっかり学ばせたい。教科書やCDを参考にしながら、話し合いの手順や互いの立場や意図を大切にしたい話し合いをおさえさせたい。

「深める」段階では、まず教師の失敗談を話題に、解決策をまとめるという目的に向かっての話し合

いの手順や注意点を確認する。グループごとに実際に話し合いをする段階では、はじめに教科書の例にならない、「減らせる失敗はあるか、どうすれば減らせるか。」について話し合う。グループごとに、司会が中心となって、①それぞれの失敗談を出し合う ②出された失敗を分類する ③失敗を減らす方法を検討する の3段階で話し合いを進める。自分の失敗や原因をあらかじめカードに書いておき、話し合いの中で表の中に整理しながら解決策をまとめていけるようにする。

「確かめる」段階では、話し合いがうまくいった理由、うまくいかなかった理由について、グループごとにふり返り、学級全体で交流する。次に、次時の話し合いに向けて計画を立てる。話し合うことへの必要感を高めるために、テーマを学校生活にしぼり、「学校生き生きプラン」としたい。自分の提案する内容や理由を学習シートに整理させ、活発に意見交流ができるように準備させたい。

「広げる」段階では、前時に決めた話題について、計画に沿ってグループごとに話し合う。まず、互いの提案の活動のよさや問題点についてメモをしながら聞き合う。その後、グループの一覧表に整理しながら意見を出し合い、よりよい提案内容になるように話し合いを行う。話し合いの後には、グループごとの話し合いの過程をふりかえり、目的に向かって意見を整理しながら話し合うことができたかどうかふり返りにまとめ、交流する。

《言語活動を支える5つの言語意識》	
○相手意識	学級の友達と
○目的意識	代表委員会で「学校生き生きプラン」を提案するために
○場面・状況意識	グループごとに、全校のみんなが参加できる「学校生き生きプラン」を話し合い、意見をまとめる。
○方法意識	目的を明確にもち、互いの立場や意図をはっきりさせながら計画的に話し合う。
○評価意識	目的や手順に沿って、互いの立場や意図をはっきりさせながら話し合うことができたか自己評価や相互評価をする。

## 5. 学習指導目標

### (1) 国語への関心・意欲・態度

- 話し合いの目的を知り、進んで話し合いに参加しようとする。

### (2) 話す・聞く能力

- ◎ 話し合いの手順を明確にし、互いの立場や意図をはっきりさせながら計画的に話し合うことができる。 (話・聞 オ)

### (3) 言語についての知識・理解・技能

- 話し言葉と書き言葉の違いが分かり、自分の言葉で意見を述べることができる。(伝国イ(ア))

## 6. 学習指導計画 (話す・聞く 6時間)

段階	学習内容	主な活動	評価規準 (話す・聞く)
見通す (1)	本単元の学習の目的をつかみ、計画的な話し合いの仕方について見通し方をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表委員会で「学校生き生きプラン」を提案するという目的を知る。</li> <li>・教材文を読んだり、CDを聞いたりして、話し合いの進め方を考える。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(1時間)</p>	話し合いの目的や手順を理解している。 (発言、行動観察、学習シート)

深める (2)	話し合いの目的や手順を確認し、「減らせる失敗はあるか、どうすれば減らせるか」についてグループごとに話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 解決策をまとめるという目的に向かっての話し合いの手順や注意点を確認する。(1時間)</li> <li>・ グループで司会を中心に、失敗の体験談、失敗の原因と分類、減らす方法の順序で話し合いをする。(1時間)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話し合いの仕方について考えている。(発言、行動観察、学習シート)</li> <li>・ 観点ごとに分類整理しながら話し合っている。(学習シート、一覧表)</li> </ul>
確かめる (1)	話し合いの手順をふりかえり、「学校生き生きプラン」の話し合いの計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時の話し合いが、うまくいった理由、うまくいかなかった理由について出し合い、次時の話し合いの計画を立てる。</li> <li>・ テーマに対する自分の考えをもつ。(1時間)</li> </ul> <p><b>※書1 自分の考えをもつための書く活動</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ふり返ったことを生かし、次時の話し合いの手順や自分の考えを整理している。(学習シート)</li> </ul>
広げる (2) 本時 1/2	計画をもとに「学校生き生きプラン」について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループで司会を中心に、話し合いの手順にそって話し合う。(1時間)</li> </ul> <p><b>※書2 互いの考えを深めるための書く活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループごとに話し合いをふりかえり、これからの学習や生活に生かしていきたいことをまとめる。(1時間)</li> </ul> <p><b>※書3 ふり返りのための書く活動</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 互いの意見を整理しながら提案内容をまとめている。(学習シート、一覧表)</li> <li>・ 話し合いについて学んだことを、これからの話し合い活動に生かそうとしている。(発言・学習シート)</li> </ul>

## 7. 本時の指導

### (1) 目標

- ◎ 互いの意図をはっきりさせながら手順に沿って話し合いを進め、よりよい提案内容をまとめることができる。

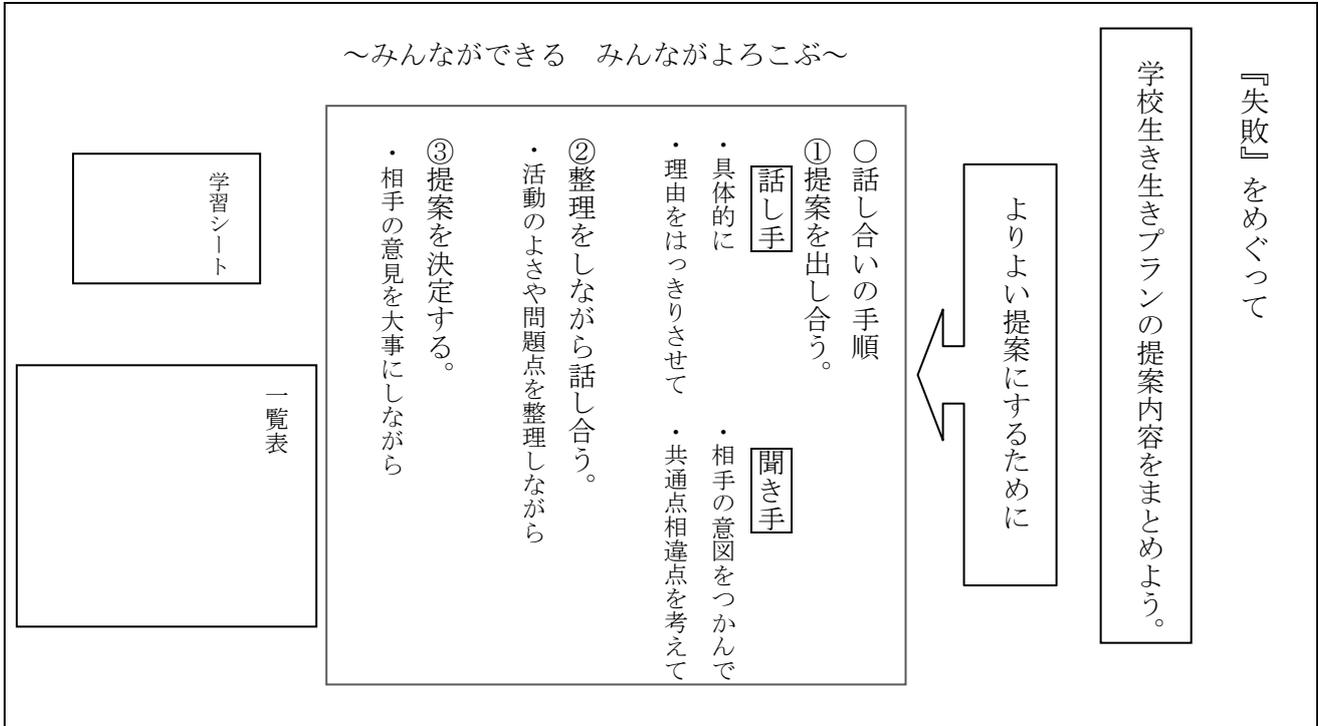
### (2) 展開

過程	学習内容	話す・聞く能力を高めるための主な活動	教師の支援
導入 5	1 本時の学習課題を確認する。  学校生き生きプランの提案内容をまとめよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の提案やその理由を確認する。</li> <li>○本時の課題を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時に準備した学習シートをふりかえらせ、本時の話し合いへの意欲をもたせたい。</li> </ul>



終 末 10	5 学習のまとめをする	○本時の話し合いをふりかえり、自己評価をする。	・次の話し合いの意欲につなげていけるように、話し合いのよかった点について称賛する。
	6 次時の予告をする		

(3) 板書計画



(4) 座席表

- ① 関心・意欲・態度  
興味関心をもって意欲的に学習に取り組んでいる。
- ② 話すこと  
事柄や順序を考えながら、相手に分かるように話すことができる。
- ③ 聞くこと  
大切なことを落とさずに聞くことができる。

教卓

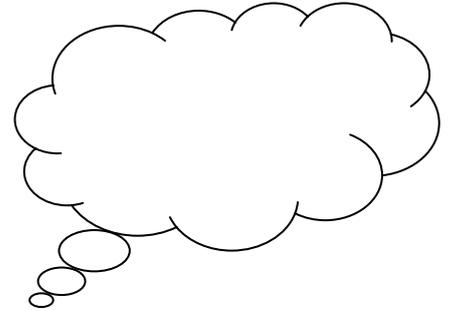
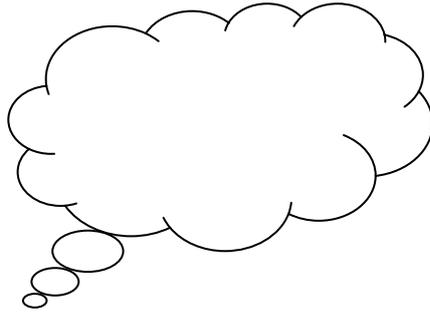
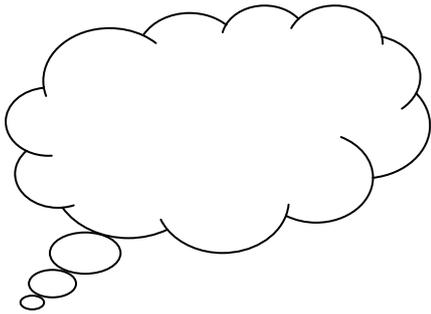
1 ①○ ②△ ③○	2 ①○ ②○ ③○	7 ①○ ②○ ③○	8 ①○ ②○ ③○	13 ①○ ②○ ③○	14 ①○ ②△ ③○
3 ①○ ②○ ③○	4 ①○ ②○ ③○	9 ①○ ②○ ③○	10 ①○ ②○ ③○	15 ①○ ②○ ③○	16 ①○ ②○ ③○
5 ①○ ②○ ③○	6 ①○ ②○ ③○	11 ①○ ②△ ③△	12 ①○ ②○ ③○	17 ①○ ②○ ③○	18 ①○ ②△ ③△

# 話し合いカード

5年 名前

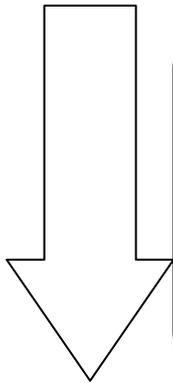
課題  ←子どもが書く

**こんな行事や活動が思いつきました。**



**なぜ、この提案がいいなあと思ったかというと、**

分類は、 なかよし交流 ( ) スポーツ ( ) ボランティア ( ) 地域との交流 ( )



相談中必要なことをメモする。(友達の提案内容のいいところ、よくないところなど)

**みんなで考えた、学校生き生きプランは、**

## 話し合いのふり返し

うまくいった理由

うまくいかなかった理由